

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R4	中3	国語	④中学校指導案（国語科）.pdf	授業構想力	○作者がなぜ題名を「形」にしたのかを想像し、「象徴」という概念について学習者それぞれが自分の考えをもつことができていた。	自己の考えをもちにくい問いに対して、考える材料を学習者に示すために、教材文だけではなく作品の背景や作品創出に関わる作者の経験などの研究をした。
R4	小2	国語	Microsoft Word - R4 v`H	授業構想力	○物語の登場人物に自分自身を同化することで、物語の理解を深めながら、創作することができていた。	学習者が物語の〈空所〉を自ら創作する（新たに文章を加える）ことを通して、一人一人の読みを明らかにすることで、物語の理解が深められるように単元を構想した。
R4	小2	国語	Microsoft Word - R4 v`H	授業構想力	●用紙のサイズによって書くスペースが限定されていたため、たくさん書きたい学習者が思いを全て表出できなかった。	学習者の思考が端的に表出されると考えて、用紙のサイズや表現方法（会話文のみにする）を限定した。
R6	小4	国語	01_1_国語科学習指導案（小学校）.pdf	授業構想力	○「本文を読んで考えたい、確かめたい。」という思いをもち、叙述のつながりを考えながら、自分の考えを整理したり、伝えたりする。	児童の一次感想から学習課題となる「なぞ」を設定し、「名探偵」となって「捜査メモ」に整理したり「捜査会議」で考えを伝え合ったりする場を設定した。
R4	中3	国語	④中学校指導案（国語科）.pdf	授業実践力	●「象徴」という抽象的なものを、自己の身近なところと関連させて考えることが苦手な生徒が一定数いる。	自分の考えが出てこない学習者に対して、まず学習者自身の考えを聞いて助言・支援し、答えを押し付けるのではなく学習者の言葉を引き出すような対話を行った。
R4	小2	国語	Microsoft Word - R4 v`H	授業実践力	○共通する「幸せ」について、多様に表現することができていた。これにより、言葉に対する見方や知識が広がっていた。	相違点、共通点という視点で登場人物の心情を深く考えるために、登場人物の「幸せ」の違いを出した後、両者に共通する「幸せ」について考えられるようにした。
R6	小4	国語	01_1_国語科学習指導案（小学校）.pdf	授業実践力	○自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする中で、読みの深まりや広がりを感じる。	思考ツールを活用するなど、児童の発言を板書に整理する中で、児童の反応や様子に応じて発問したり、評価したりする。
R4	中3	国語	④中学校指導案（国語科）.pdf	授業分析・評価力	○グループで読みを共有する際、その人の意見の理由や根拠を聞くことによって、自分とは異なる考えを受け入れることができていた。	学習者が自分の考えをもっているが、その理由や根拠が曖昧である様子を見取り、当初の計画になかった活動（心情曲線）を取り入れた。
R4	小2	国語	Microsoft Word - R4 v`H	授業分析・評価力	○友達が創作した物語から、新たな課題（本時のめあて）を見出すことができていた。	学習者の思考を深めていく作品を授業で取り上げるために、創作した作品を事前に指導者が把握した。そして、特徴的な作品の読解を行い、本時の目標に迫った。
R6	小4	国語	01_1_国語科学習指導案（小学校）.pdf	授業分析・評価力	○学習を通して、学んだことや付いた力を実感し、他の学習の際にも活用できる。	児童の「捜査メモ」などを共有し、工夫されたまとめ方を紹介するなどして、学習したことを他の物語でも使ってみたいと思えるようにする。